令和５年度　落一日記

１年生１学期
生活科の学習

【がっこうたんけん】

５月１２日に、２年生の子どもたちの案内で「がっこうたんけん」をしました。

幼稚園や保育園に比べて、たくさんの部屋のある小学校。入学して 1 か月がたっても、まだまだ知らないところが多くあります。1 階から 3 階までをぐるりと回って、ちょっぴり学校のことを知った 1 年生でした。

【きれいにさいてね】

５月はじめ、アサガオの種を観察しました。ようく見ると、形はまんまるではなく、色も黒いだけではないことに気付きました。

植木鉢に種をまくと、それからの成長はハイスピード。蔓（子どもたちは「棒みたいなもの」と言いました）が伸び始めます。「どうしたらいいんだろう。」「棒に結び付ければいいんじゃない。」支柱を立てることにしました。ところが、今度は、蔓が支柱の高さを越えてしまいます。「どうしたらいいんだろう。」「手入れが必要だね。」「支柱に絡みつければいいんじゃない。」「先をつまむといいみたいだよ。」それからは、水やりと蔓の手入れの日々です。そうしているうちに、花が次々に咲きます。観察カードの記載も国語の学習を活かし、「色」「形」「数」「におい」などの項目を立てて、書けるようになってきました。大事に育ててきたアサガオ。花が咲き終わった後には、また新たな発見があることでしょう。

【がっこうにいるひととなかよくなろう】

２年生との「がっこうたんけん」で少し学校のことは分かった子どもたち。しかし、まだ分からないことがたくさんあります。

「校長室の場所は分かったけれど、校長先生は何をしているんだろう。」

「他にも学校には、担任の先生以外にも大人の人がいっぱいいるよ。」

校長先生、副校長先生、音楽・図工・算数の先生、保健室の先生、給食を作っている人、主事さん、事務室の先生、交通安全を守る人・・・。次々に挙がります。「いったいどんな仕事をしているのだろう。」「よし、お話を聞いてみよう。」インタビューの計画を立てて、休み時間に話を伺いに行きます。最後には、一生懸命にメモをしたことを基に、みんなの前で堂々と発表することができました。